

## 応援奨学生に関するアンケート結果（平成27年度）

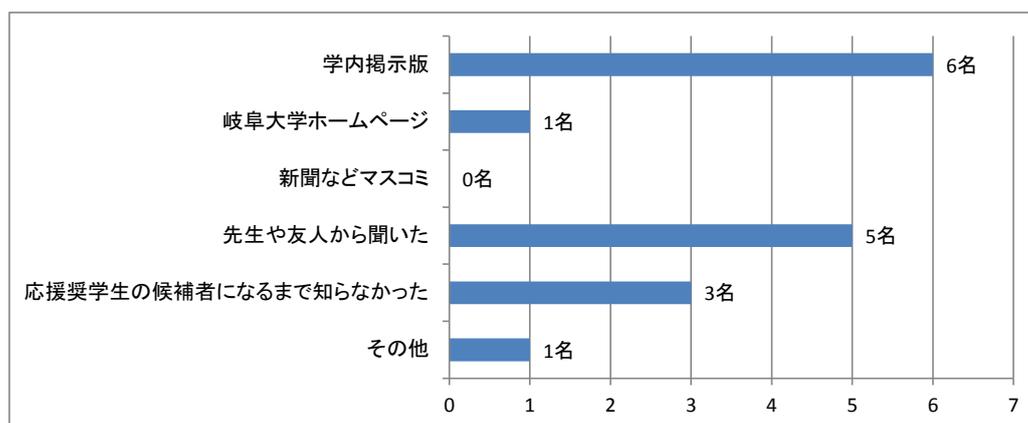
「応援奨学生」制度は、平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に開始されました。

今回は、平成27年度に応援奨学生として奨学金を受給された25名の方を対象に、今後の参考とするために実施したアンケート結果です。

回答者数16名

### 1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？

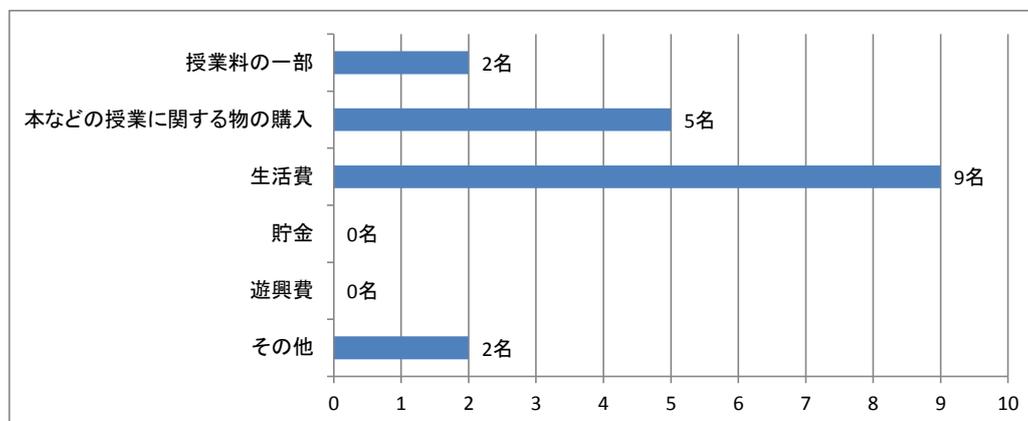


こういった告知形式を取れば、学生への認知を広めることができると考えられますか？

- ・ 前期・後期のガイダンスで告知する。
- ・ AIMSより情報を送る。
- ・ 授業・ゼミで告知する。
- ・ 掲示板・メールで告知する。

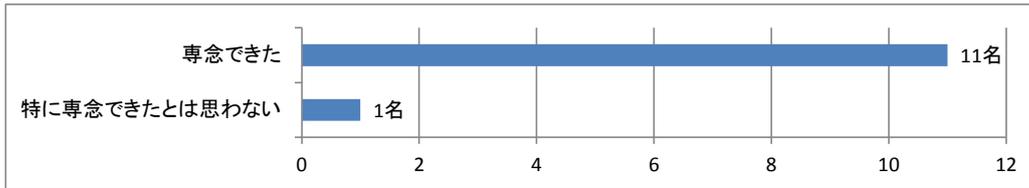
### 2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

#### (1) 主な使途について



- ・ その他 海外実習にかかる費用。就職活動。

(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



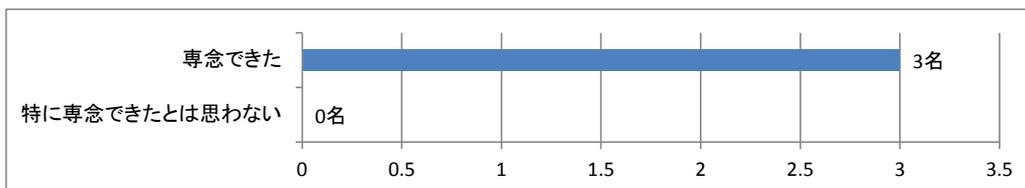
専念できた理由

- ・ 専門書を購入することができ、知識の幅が増えた。
- ・ アルバイトの時間を減らすことができ、勉強に時間を充てることができた。
- ・ 様々な学会に参加することができた。

特に専念できなかった理由

- ・ 給付の前後で学業への専念に変化があったとは思わない。

(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- ・ アルバイトの時間を削ることができ、学業に時間を充てることができた。
- ・ アルバイトを辞めて、研究に専念することができた。
- ・ 生活費に本当に役に立ち、研究と勉強に集中することができた。

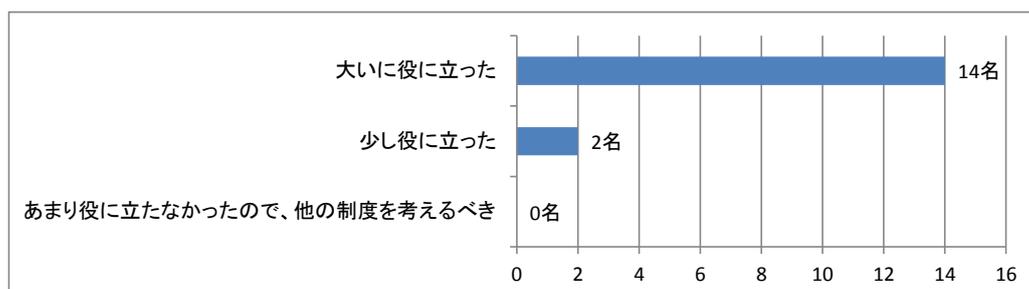
(4) 学業以外の用途に使用されましたが、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

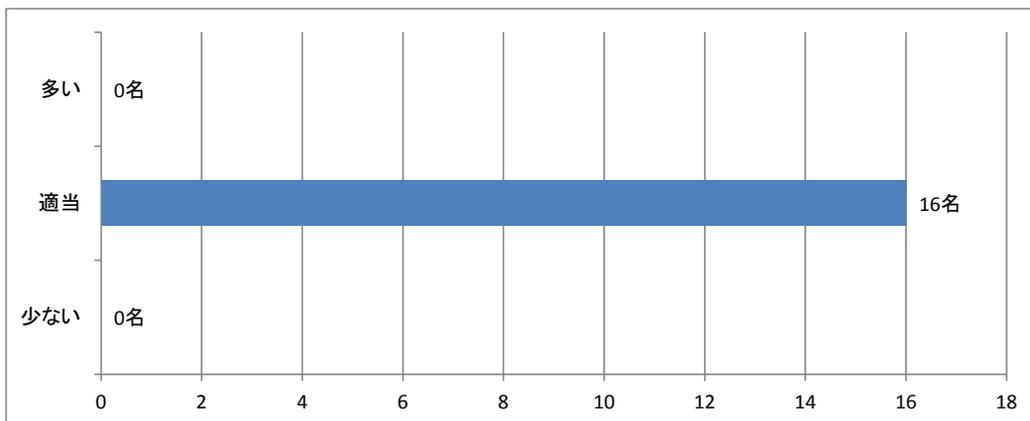
- ・ アルバイトの時間を削ることができ、学業に時間を充てることができた。

3 奨学金の給付は、大学生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？

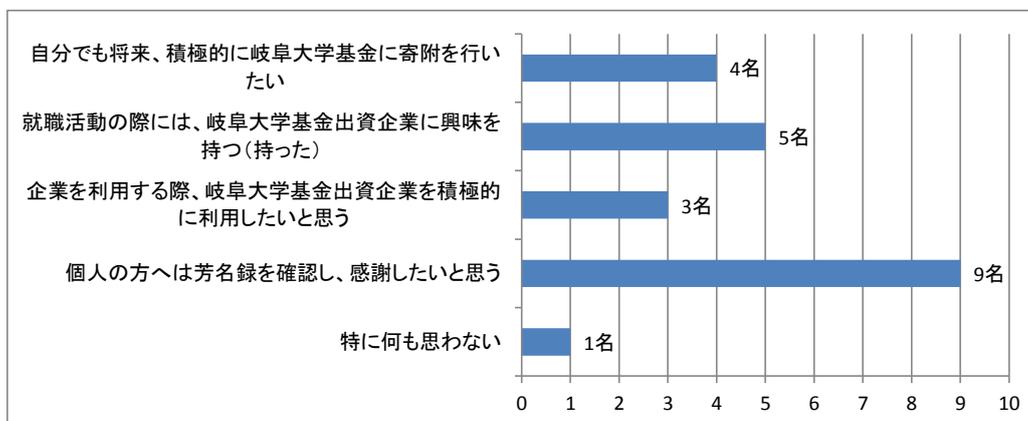


4 奨学金の給付額についてお伺いします。

学部学生	月額 30,000円
大学院研究科修士課程（博士前期課程、教職大学院）	月額 30,000円
大学院研究科博士課程（博士後期課程）	月額 50,000円



5 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答可）



## 6 応援奨学生の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。（自由記述）

・学業に専念することができました。ありがとうございました。今後もより一層、学業に励んでいきたいと思えます。

・学生は時間があってもお金がないので、奨学金の給付を受けて、有意義なことにチャレンジしようという意欲にわいたのは非常に良かったと思う。

・給付を受けたことで経済的な余裕が生まれただけでなく、私が応援奨学生に選ばれたということに大変嬉しく思いましたし、より学業に励まなくてはと思うことが出来ました。ありがとうございました。

・一年間、応援奨学金があったからこそ、多忙な日々を乗り越えることができました。また、自分自身の分までの勉学に対する自信にもつながりました。本当にありがとうございました。今後も頑張ります。

・一年間応援奨学金の給付ありがとうございました。応援奨学生に採用され、これまでの研究生生活と同じように研究を進めることができました。大変感謝しております。

・岐阜大学応援奨学金をいただき、ありがとうございました。この一年間の勉強と生活に大変たすかりました。これからの将来にもっと頑張っていきたいと思っております。

・今までとは異なった経験ができた。それは新たな知識を身に付けたり、応援奨学金等が多くの方の寄付によって成り立っていることを知ったことである。それは、自分の知見を広げるのに大いに役に立った。ありがとうございました。